

自治会・町内会・各種団体の皆様へ
県政報告や意見交換会等を開催して下さい。
県職員とともに喜んで伺います。

地域の声を県政に反映
2月補正・25年度予算は生活関
連道路予算が多く盛り込まれた。
身近な危険道路を改修します。

自民改革会議 **五輪会**
静岡県議会議員

おち あい しん ご
落合慎悟



静岡県議会報告
平成25年春号(年4回発行)

2011年3月11日「東日本大震災」記録 発災から2年を視察

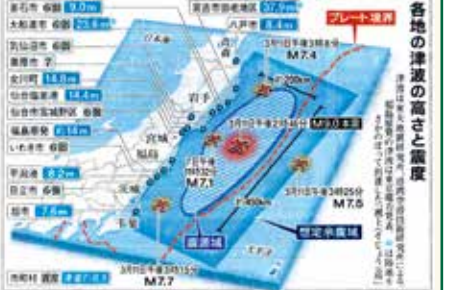
私は悲惨な津波映像を見て3月13日午後、車に燃料を積込み新潟経由で宮城県南三陸に入った。
16日深夜帰宅、17日から救援活動、支援物資輸送、炊出し支援や被災者との交流・状況調査に取り組む。



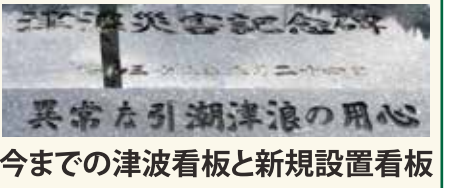
宮城県石巻、南三陸、気仙沼の想像を絶した悲惨な状況はテレビでは伝わらない!!着るもの、食べるもの、寝る場所、暖房もなく、道や橋は崩れ、更に海岸線は地盤沈下で海の中!!



17日～桃華絵里さんと島田市山岸運送(株)の救援活動に協力、物資受入先(松島町・気仙沼)手配 4月岩手県 7月東松島市炊出し支援 放射能汚染視察 南三陸1周年追悼行事



昭和35年 南三陸町の津波災害碑



異常な引潮津浪の用心



今までの津波看板と新規設置看板



被災地では防潮堤改築工事や
浚渫作業が順調に進んでいる。
主要道路も多くの箇所ですり交
互通行で復旧工事中であった。
津波看板も新しくなった。

津波被害が少なく助かった。岩手県三陸海岸「明暗を分けた防波堤の高さ」16m以上の津波で多大な被害を受けた。

普代村当時の村長決断「海拔15.5m防波堤と水門」
明治29年大津波で302人、昭和8年大津波で137人の犠牲者の歴史、
当時の和村村長は昭和43年、防波堤、59年普代川に水門を完成。



宮古市田老町「万里の長城」と言われた海拔10m防波堤
田老町の堤防は津波から守るため昭和53年完成2.3kmの堤防である。
しかし、海拔10mでは昭和8年の全町壊滅時と同様に、街を守れなかった。



被災直後 山田町 25年3月

防潮堤の復旧工事が始まったが、高台
移転など、これからの課題が山積

被災直後 大槌町 25年3月

多くの職員が亡くなった大槌町役場は
静岡県が各市町と共に職員支援している。

被災直後 大船渡市 25年3月

3/2大船渡線の線路を舗装。バス道路に
改修してBRTバスを運行開始した。

3/10 名取市 関上地区 被災2周年追悼行事「関上で逢おうよ!」

テレビで何回も放映された関上地区の
津波襲来の様子、松並木をなぎ倒し住宅
街を次々と飲み込んでいく津波、関上中
学校屋上に逃げ延びた住民は助かった。
『一人じゃないよ、みんながいるよ』

3月10日関上地区で追悼行事が行われた。各地から集まった「よさこい」踊り子
たち、海岸端の慰霊碑から中学校まで希望の言葉を書いた3000個の慰霊灯籠

被災直後 南三陸町 25年3月

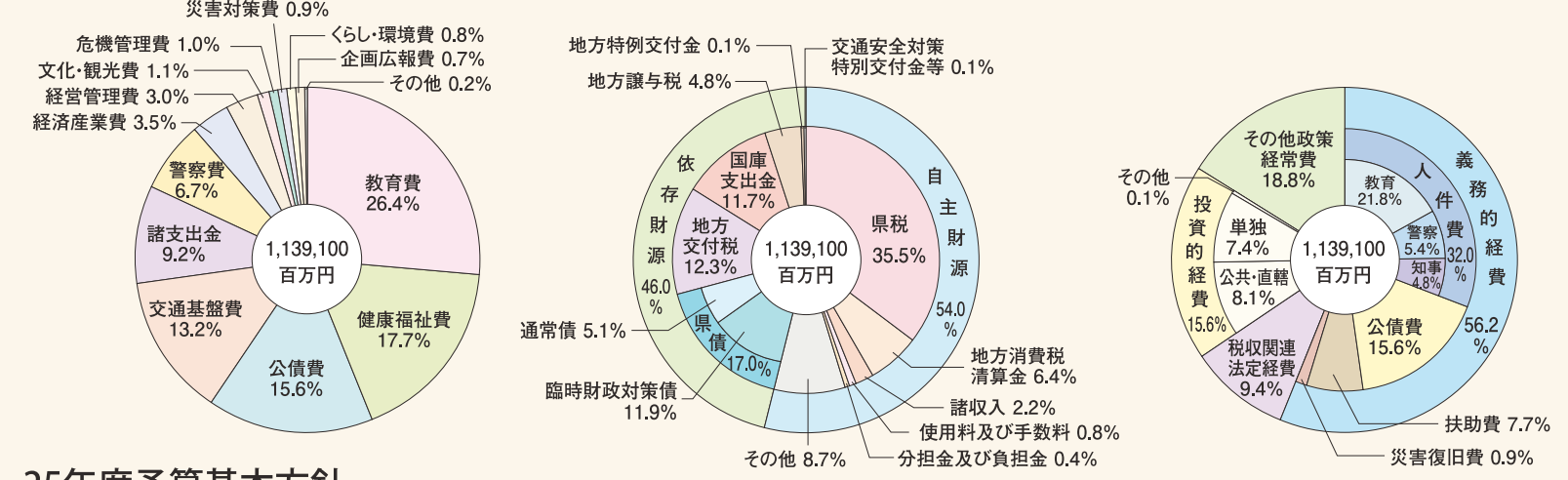
奇跡の一本松が1.5億円の寄付で樹脂
加工され再現した。しかし街の復興は遠い。

商店街ができて町はほんの少しだけ復旧

被災直後 気仙沼市 25年3月

大型漁船はそのまま、瓦礫は無くなった。
商店街もできて街の復旧が進み始めた。

平成25年度静岡県の主な事業内容と予算金額



- 25年度予算基本方針**
- ふじのくに重点施策の展開
- 1.内陸フロンティアを拓く取組
 - 2.エネルギーの地産地消
 - 3.地震・津波対策の推進
 - 4.富士山の後世への継承
 - 5.雇用・経済対策の実施
 - 6.少子化対策の充実
- 総合計画目標達成に向けた取組**
- 1.命を守る危機管理
 - 2.徳のある人材の育成
 - 3.ふじのくにの豊かさの実現
 - 4.ふじのくにの自立の実現
 - 5.機能的かつ能率的な組織づくり
 - 6.行政改革の推進

主な事業と予算金額

事業内容	千円
●南海トラフの巨大地震に係る第4次被害想定に対応する計画の策定・緊急輸送路の新たな耐震対策等の策定	33,750
●原子力災害時の応急対策拠点となるオフサイトセンターを富士山静岡空港西側に移転。H27供用開始	420,000
●災害予防対策推進 河川改修、水門設置 高潮対策、海岸保全・砂防、地すべり、急傾斜地崩壊対策、治山	24,484,400
●劣化の著しい橋梁・舗装・トンネル設備を対象とした緊急修繕を7年間で実施・実施期間 H22～H28	2,100,000
●生活体験の拡大及び地域コミュニティの構築を図るため、異年齢集団による通学合宿を実施 190か所	15,760
●静岡式35人学級編制を拡充・ H24 小1、2、4～中3→H25 小3に拡充して全学年完成	県単独措置等
●小学校1・2年生の多人数学級に非常勤講師配置 (34人以上学級2クラスに1人配置) 148人	116,900
●小中学校における発達障害児等をサポート・非常勤講師の配置 198人	155,800
●スクールカウンセラー、学校支援心理アドバイザーの配置(拡充) 小中学校237人(全校配置) 高校 17人	307,000
●博士号等を持つ人材を県立高校に配置・サイエンスエキスパートの配置 13人・博士、修士の派遣 15人	121,000
●高校生の理数系教育ニュープロジェクト 大学研究室での活動体験 14講座「科学の甲子園」県大会開催等	15,800
●県立学校整備 高校再編整備 志保地区 天竜地区 引佐地区 特別支援学校整備 榛南地区 掛川地区	5,666,000
●富士山世界文化遺産登録記念事業や富士山周辺施設を活用した情報発信、富士山世界遺産センターの展示検討	73,000
●グランシップの管理運営・施設の管理運営及び自主企画事業の実施・老朽化設備の更新(H25～H26)	1,015,000
●中学校、高等学校の部活動の活性化を推進・トップアスリートによるジュニア選手の育成指導	16,000
●富士山静岡空港の利用促進・新規就航の促進や既存路線の拡大などに向けた航空会社への助成 ほか	373,000
●本県の優れた農林水産物等のブランド認定や、秋葉原にアンテナコーナー設置、海外への輸出拡大に取組	28,750
●第5回世界お茶まつり開催 春5月2～5日富士山静岡空港、お茶の郷 秋11月7～10日 グランシップ	92,600
●浜名湖花博10周年記念事業準備・開催時期 26年春・開催場所 浜名湖ガーデンパーク、フラワーパーク	406,000
●企業立地助成・補助率 県7/100(成長分野は10/100) 限度額 5億円(成長分野10億円)	1,700,000
●用地取得費の2/10(成長分野3/10) 新規雇用50万円/人 補助率 県1/2 限度額1億円(成長分野1.5億円)	1,100,000
●個店の魅力アップ等の商業活性化策に取組む市町に助成 補助率 対象経費1/3以内かつ市町補助額1/2以内	20,000
●2,000haの耕作放棄地の解消・H25解消目標面積 450ha・県と市町等の協働による再生利用活動への支援等	180,709
●【鳥獣害対策関連事業】市町の被害防止計画に基づく鳥獣被害防止柵の設置等に助成・補助率 1/2 ほか	171,619
●失業者の一時的な雇用機会創出や人材育成等を図る・緊急未就職卒業生就職応援事業 H25 210人	2,725,412
●介護分野における人材確保と人材の育成体験型介護講座開催 参加者数 延べ5,070人 雇用目標 500人	91,500
●高齢者や子育て世帯のリフォーム工事助成・助成件数3,740戸・補助率 1/10 上限15万円/戸	569,000
●住宅用太陽光発電設備 補助額 1.5万円/kW 上限6万円・太陽熱利用設備補助率 1/10以内上限10万円	875,100
●待機児童の解消 保育士確保を支援 ・民間保育所緊急整備 19か所 ・民間の認定こども園整備 4か所	2,417,000
●児童虐待緊急対策(サポート職員6人配置等) ・被虐待児等への支援調査・研究 ・支援施設あり方検討会開催	201,629
●医師の確保・ふじのくに地域医療支援センター運営・医学研修研修資金 20万円/月継続251人、新規100人	1,406,321
●【志太榛原・中東遠】救急医療センター整備(深夜帯診療、機器整備等) ・児童精神医学寄附講座(浜松医科大学)	1,904,304
●新型インフルエンザ等対策(県行動計画の策定等(新規)・タミフルの更新備蓄 31万人分)	515,200
●障害者施設整備 介護事業所3 就労継続支援B型3 児童発達支援センター1 生活介護児童発達支援1	614,500
●特別養護老人ホーム 14か所・認知症高齢者グループホーム 25か所 ほか	4,265,000
●生活保護受給世帯中学生に教育相談及び学習支援 沼津市、田方郡・駿東郡、富士市、伊東市、藤枝市、磐田市	52,500
●自殺対策事業 ゲートキーパー養成・いのちの電話相談体制強化・介護士及び精神健康福祉士による相談会等	156,574
●「静岡県ひきこもり支援センター」の設置(精神保健福祉センター内・保健所) 支援コーディネーターの設置5人	21,500
●交通の安全と円滑化を図るため、交通安全施設の整備を推進・信号機、標識・標示、歩道 ほか	5,210,414
●県税等のコンビニ収納やクレジットカード収納・クレジットカード収納の新規導入(自動車税)	103,708